



# 十津川村立十津川中学校 学校だより 12月

令和5年12月21日  
文責 前木伸一

## ～ 十津川中学校の「今年の漢字」 ～

「今年の漢字」とは、その年の世相を表す漢字一字を公募し、12月12日の「漢字の日」に京都の清水寺で発表する日本漢字能力検定協会のキャンペーンです。今年は「**税**」が選ばれました。「税」に関するさまざまな改正や検討があったことが主な理由だそうです。

2学期が終わるにあたり、「十津川中学校の今年を表す漢字一字」は何だろうと思い、本当は生徒の皆さんから公募できれば良かったのですが、今回は一人で考えてみました。その結果、「**郷**」の字を思い浮かべました。以下にその理由を書きました。

・本校学校教育目標「ふるさと（故郷）を愛し・・・生徒の育成」にむけ、総合学習や行事等で地域の方々と触れあい、十津川村の「歴史」、「伝統」、「自然」、「文化」、「人情」、「勤労」等、多くの事を学んでくれました。

・生徒の皆さんが、地域の行事に積極的に参加し、郷土に貢献しました。村の文化祭では、舞台発表や展示発表で中学生が見事な演技や作品を披露してくれました。会場内外で楽しそうに会話している中学生の姿も地域の宝です。又、他府県で開催された「全国民俗芸能大会」で、地域の方々と共に「十津川大踊」を披露してくれた生徒もいます。

・学校だよりに毎回郷土くんが登場しました。郷土くんが持つ旗に書かれている「心身再生の郷」の言葉は、十津川村のキャッチフレーズです。流行や経済に流されない「本物を大切にする」村の思いが込められています。生徒の皆さんにも、その思いを大切にする心を育ててほしいと思います。



郷土を愛する心は、人間にとっての土台、植物で言えば根っこの部分であると思います。

しっかり根を張り、力強い幹を育て、美しく開花する準備を中学生の間に整えてください。

## ～ 中高一貫総合学習発表会が開催されました ～

12月1日（金）、本校で標記の発表会が開催されました。中学校からは「持続可能な十津川村づくり～2030年のあるべき姿を目指して～」のテーマのもと、3年生が3つの班に分かれて学習の成果を発表しました。中学生が村の将来のことを思い、この研究テーマを設定し学習してくれたことをとても嬉しく感じました。「食べ物班」は十津川村の特産品である「むこだまし」に着目した内容、「空き家班」は村内に点在する空き家に焦点を当てた内容、「方言班」は十津川の方言を伝承するための内容でした。それぞれの班が試行錯誤しながら課題を追求してきた取組を、わかりやすく、楽しく、そして堂々と発表してくれました。又、「自分たちがやり残したことを次の学年に引き継ぎ、より深い学習に発展させてもらう」ことも試みてくれました。

十津川村を教科書とした学習で生徒一人一人が成長する。

中学生が学習した内容により一層十津川村が輝く。

そんな総合学習を目指せたらと思います。

